

覚えたい慣用句

200

- 息を呑む
- 息を殺す
- 息が長い
- 息が詰まる
- 息が合う
- あわを食う
- 油をしぼる
- 油を売る
- あとの祭り
- 頭を冷やす
- 頭を下げる
- 頭を抱える
- 頭に來る
- 頭が切れる
- 頭が固い
- 頭が上がらない
- 足を引っ張る
- 足を延ばす
- 味を占める
- 足が棒になる
- 足が出る
- 赤の他人
- 青菜に塩
- あうんの呼吸
- 相いづちを打つ

- 顔から火が出る
- お茶を濁す
- えりを正す
- 絵にかいたもち
- 上の空
- 瓜二つ
- 馬が合う
- 腕を磨く
- 腕を振るう
- 腕に覚えがある
- 腕が鳴る
- 腕が上がる
- うそ八百
- 雨後の竹の子
- いばらの道
- 犬の遠ぼえ
- 一石を投じる
- 一糸乱れず
- 一刻を争う
- 一も二もなく
- 一目をおく
- 一目置く
- 一から十まで
- 一か八か
- 板に付く

覚えたい慣用句

200

- 怪我の功名けががしゅうみやう
- くもの子を散らす
- 首を長くするくびなが
- 首を突っ込むくびつっこむ
- 首が回らないくびまわらない
- 口を割るくちわ
- 口を尖らせるくちとが
- 口を揃えるくちそろ
- くちびるをかむ
- 口すっぱくくちすっぱく
- 口が減らないくちへ
- 口が軽いくちかる
- 口が重いくちおも
- 釘を刺すくぎさ
- 肝を冷やすきもひひ
- 肝に銘じるきもめい
- 狐につままれるきつね
- かにに障るかにさわ
- 雷を落とすかみなりお
- 蚊の鳴くようかかな
- 肩をもつかた
- 肩を貸すかたか
- 肩を落とすかたお
- 固唾を呑むかたずの
- 風の便りかぜのたよ

- 煙に巻くけむりま
- 声を落とすこえお
- 心が動くこころうご
- 心に刻むこころき
- 心に留めるこころと
- 心を合わせるこころあ
- 腰が重いこしおも
- 腰が低いこしひく
- 腰を折るこしお
- 腰を据えるこしす
- ごまをする
- さじを投げるさじな
- さばを読むさばよ
- 三拍子揃うさんびょうしそろ
- 尻尾を出すしっぽだ
- しのぎを削るしんぎけず
- しびれを切らす
- 尻に火がつくしりひ
- すずめの涙すずめなみだ
- すねをかじる
- 背筋が寒くなるせすじさむ
- 世話を焼くせわや
- 先手を打つせんてう
- たいこ判をおすたいこばん
- 血が騒ぐちさわ

覚えたい慣用句

200

- 涙を飲む
- 虎の子
- 途方に暮れる
- 時を待つ
- 峠を越す
- 天狗になる
- 手を緩める
- 手を広げる
- 手を引く
- 手をこまねく
- 手を組む
- 手を切る
- 手を借りる
- 手を打つ
- 手に付かない
- 手に落ちる
- 手に負えない
- 手が届く
- 手が出ない
- 手が掛かる
- 手が空く
- 鶴の一声
- 茶々を入れる
- 血の涙
- 地に落ちる

- 二の足を踏む
- ぬるま湯につかる
- 猫の手も借りたい
- 猫の額
- 猫をかぶる
- 寝耳に水
- 根も葉もない
- 喉から手が出る
- 掃き溜めに鶴
- 白紙に戻す
- ばつが悪い
- 鼻が高い
- 話に花が咲く
- 話の腰を折る
- 鼻で笑う
- 花を持たせる
- 羽を伸ばす
- 腹が黒い
- 腹が立つ
- 腹を決める
- 腹を探る
- 歯を食いしばる
- 火に油を注ぐ
- 非の打ち所がない
- 火花を散らす

覚えたい慣用句

200

- 虫がよい むし
- 実を結ぶ み
- 耳を立てる みみ
- 耳をすます みみ
- 耳を傾ける みみ
- 耳を貸す みみ
- 耳にたこができる みみ
- 耳にする みみ
- 耳が早い みみ
- 道草を食う みちくさ
- 水を差す みず
- 水に流す みず
- 水と油 みず
- 右にでる者がいない みぎ
- 眉をひそめる まゆ
- 真に受ける ま
- 間が悪い ま
- 頬が落ちる ほお
- 棒にふる ぼう
- へそを曲げる ま
- ふるいにかける
- ふに落ちない お
- 袋のねずみ ぶくろ
- 氷山の一角 ひょうざん
- 百も承知 ひゃく

- 虫が知らせる むし
- 虫の居所が悪い むし
- 胸が痛む むね
- 胸がすく むね
- 胸が晴れる むね
- 胸を打つ むね
- 胸を弾ませる むね
- 目が肥える め
- 目が高い め
- 芽が出る め
- 目が点になる め
- 目が届く め
- 目から火が出る め
- 目に余る め
- 目に掛かる め
- 目の色を変える め
- 目を注ぐ め
- 目を丸くする め
- 元も子もない もと
- 門を叩く もん
- 矢面に立つ やおもて
- 山を張る やま
- 横車を押す よこぐるま
- うちがあかない
- 我を忘れる われ